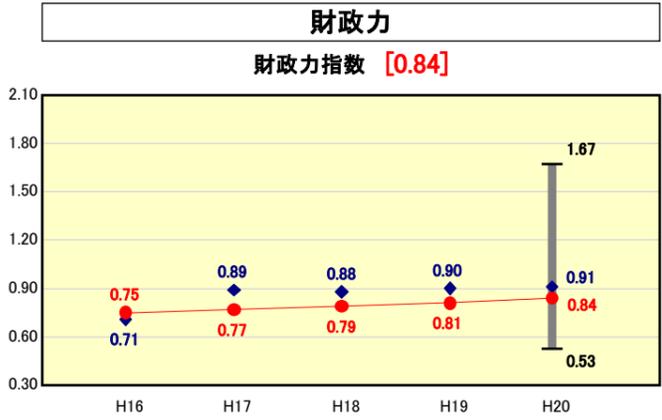


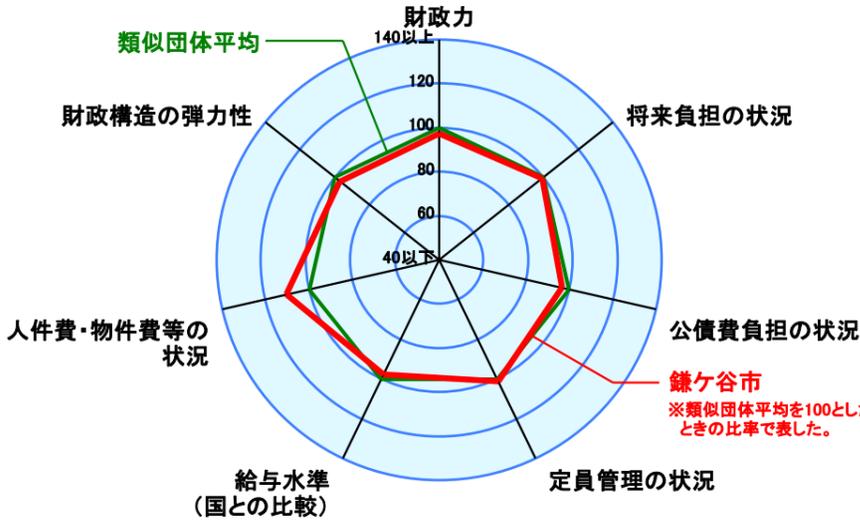
市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)



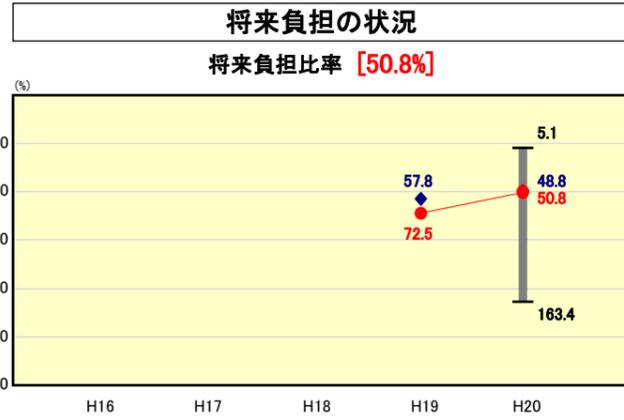
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 20/35
全国市町村平均 0.56
千葉県市町村平均 0.80

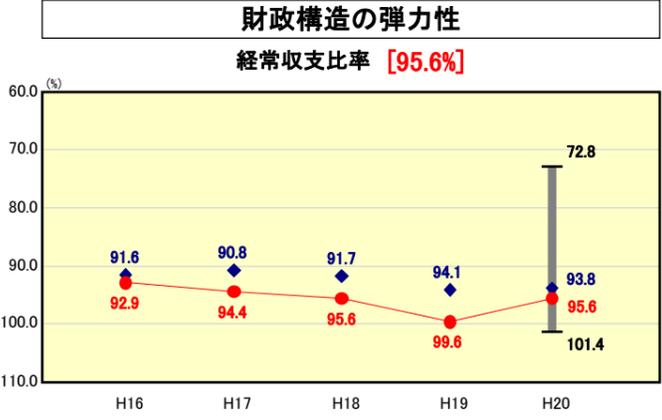
人口	106,268	人(H21.3.31現在)
面積	21.11	km ²
標準財政規模	17,051,836	千円
歳入総額	24,916,802	千円
歳出総額	23,947,307	千円
実質収支	882,876	千円



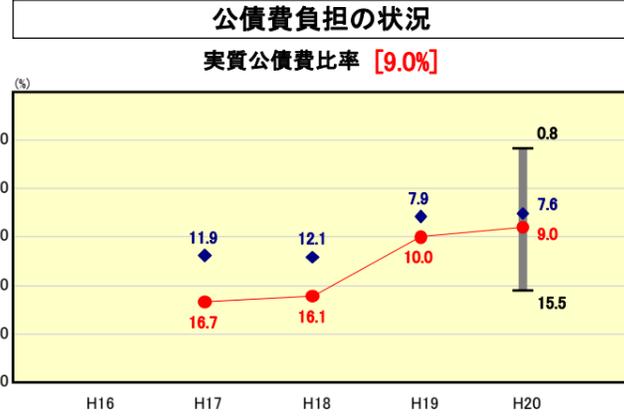
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



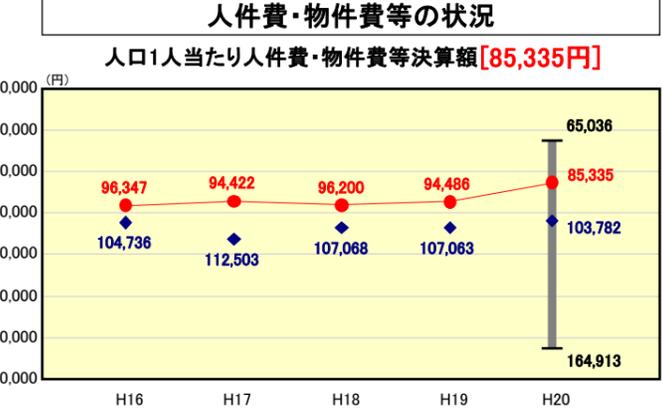
類似団体内順位 10/35
全国市町村平均 100.9
千葉県市町村平均 105.7



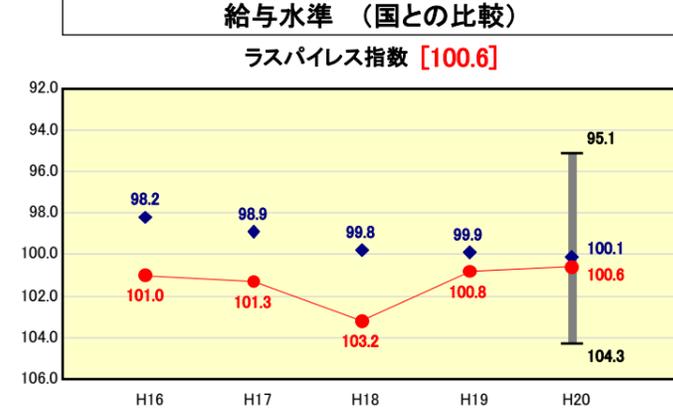
類似団体内順位 18/35
全国市町村平均 91.8
千葉県市町村平均 91.7



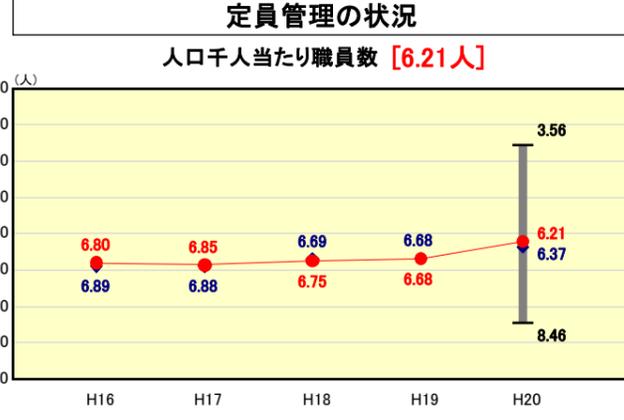
類似団体内順位 23/35
全国市町村平均 11.8
千葉県市町村平均 11.1



類似団体内順位 4/35
全国市町村平均 114,142
千葉県市町村平均 109,074



類似団体内順位 22/35
全国市平均 98.4
全国町村平均 94.6



類似団体内順位 16/35
全国市町村平均 7.46
千葉県市町村平均 7.02

※人員費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人員費には事業費支弁人員費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
平成2年度の0.865をピークにして、13年度の0.728まで低下傾向にあったが、14年度から上昇傾向に転じ、20年度は0.84となっている。滞納徴収強化等の歳入確保・増収策を図るなど財政基盤の強化に努める。

経常収支比率
平成19年度は99.6%と7年連続で上昇してきたが、20年度は行革推進型予算として行財政改革を実行した結果、4ポイント改善して95.6%となっている。今後も歳入の根幹をなす市税の増収が見込まれないことから、引き続き行財政改革を推進して95%未満を目標とする。

実質公債費比率
平成19年度から算出方法が変更されることとなったため、18年度の17.1%から大幅に改善して、19年度の10.0%、20年度は9.0%となっている。プライマリーバランスを考慮し、適正な地方債管理に努める。

将来負担比率
平成19年度の72.5%から、約20ポイント改善して50.8%となっている。将来負担額が大幅に減少する一方、充当可能基金等が増加している。

ラスパイレス指数
給料・手当等の人員費を約5億円減額したことにより、平成19年度の103.2%から20年度は100.6%へと適正傾向となっている。

人口1,000人当たり職員数
集中改革プラン及び定員適正化計画に基づき、新規採用の抑制や民間委託等の活用により、類似団体の平均値より下回る職員数となっている。

人口1人当たり人員費・物件費等決算額
行革推進型予算により事務事業の見直しを行った結果、類似団体の平均値を大幅に下回る決算額となっている。